第 14 回 鋼構造技術継承講演会

～経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術～

先人の多大な努力により建設・管理がなされてきた多くの鋼構造物は，持続可能な社会を実現するための重要な構造物として，今後もその役割を担い続けていきます．また，切迫する巨大地震や激甚化・頻発化する気象災害に対して安全・安心な社会を作り上げるための国土強靭化，構造物の高齢化に対する適切な維持管理や長寿命化など，近年の鋼構造物に対する要求は多様化，高度化しています．今後，このような多様な性能が求められる鋼構造物を建設・維持管理していくためには，先人が培ってきた鋼構造物の歴史や計画，設計，施工，維持管理などの研究・技術への理解を深め，それらを活かして鋼構造の技術の発展につなげていくことが重要であると考えます．

本講演会では，毎回，大先輩の技術者，研究者の方々に，研究面および技術面における豊富な経験を，現役および次世代を担う技術者，研究者の方々に技術伝承するためのご講演をしていただいております．

第１４回となる今年度は，風工学、構造動力学、長大橋に関する教育・研究・社会活動に長年携わられてこられた山田均氏（横浜国立大学名誉教授）に「永遠の課題である技術継承」と題するご講演を，鉄道橋の設計・施工・維持管理および災害復旧に関する研究・社会活動に長年携わられてこられた野澤伸一郎氏（JR 東日本コンサルタンツ（株））に「鋼構造を用いた鉄道施設の挑戦」と題するご講演をそれぞれいただく予定です．

両氏のご講演は，現在の鋼構造物が直面している課題の解決に大きく役立つことでしょう．参加費は無料です．多くの皆様，特に若手技術者，大学生，大学院生の参加をお待ちしています．

・主　催：土木学会（担当：鋼構造委員会）
・日　時：2027 年 2 月 10 日（水）　14：00～17：00
・開催形式
　(1) 土木学会講堂（〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内）
　(2) オンライン（ZOOM ウェビナーによるライブ配信）
　※土木学会講堂での聴講のほか，オンラインでの聴講も可能です．いずれかの方法を選択してお申込みください．

・定　員
　(1) 土木学会講堂（申込先着順で 50 名まで）
　(2) オンライン（申込先着順で 300 名まで）

・参加費：無料

・申込締切日：2027 年 2 月 7 日（日）17：00

・参加申込

参加をご希望される方は，以下のサイトからお申込みください.

【対面参加】https://www.jsce.or.jp/events/form/252610

【オンライン参加】https://www.jsce.or.jp/events/form/2526101

※対面参加とオンライン参加で申込区分が分かれておりますのでご注意ください.

※オンライン参加の方の視聴用の URL 等は，ご登録いただきましたメールアドレス宛に開催日前日を目処にメールにて連絡予定です.

＜お問合せ先＞

研究事業課 鋼構造委員会担当事務局宛

メール：sugawara“at”jsce.or.jp　“at”を@に変更してメールして下さい.

・ 詳細（プログラム）

14:00~14:05　鋼構造委員会委員長挨拶

14:05~15:25　山田均氏：「永遠の課題である技術継承」

15:25~15:35　休憩

15:35~16:55　野澤伸一郎氏：「鋼構造を用いた鉄道施設の挑戦」

16:55~17:00　鋼構造委員会副委員長挨拶

＊本講演会は CPD 認定プログラムです（JSCE26-1552　2.7 単位）